



萩市須佐地域

公民館だより

令和6年

7月

第612号

須佐地域生涯学習推進
マスコット「まな坊」

※題字は昭和48年発刊第1号時のもの

集おう！学ぼう！
手をつなごう！

発行/須佐公民館 〒759-3411 萩市大字須佐4570-1 TEL08387-6-2310 FAX08387-6-2030
弥富公民館 〒759-3302 萩市大字弥富下4043 TEL08387-8-2044 FAX08387-8-2212
特定非営利活動法人 須佐元気なまちづくりネット

自然と親しむ… 小学生が土と奮闘！



育英小3・4年の芋植え体験（元気農園で撮影）



今月の話題

- 小学生がさつまいもの苗植えを体験
放課後子ども教室では陸稲(おかぼ)植え・・・2P
- 須佐・弥富両地区スポーツ大会！・・・・・・・3P
- 生涯学習発表会：作品発表
500点以上の作品が展示される・・・・・・・4P
- 地域トピックス：ほたるまつり他・・・・・・・6P
- 「我が家のアイドル」・・・・・・・10P
- 弥富老人憩いの家が開所した日・・・・・・・11P

7月の花 「バラ」



令和元年の生涯学習発表会
絵手紙の作品から

～花ことば～

〈全般には〉
美・愛情です

高貴な姿と豊かな色彩、気品に洗練された香りで人々に愛され、「花の女王」と呼ばれます。

欧米では、数々の伝説に登場します。

子ども達と農業体験!

豊作願ってさつまいも植え!



5月30日(木)、育英小学校グラウンド横の元気農園で、複式学級の3年生9名と4年生4名の13名が、地域の方と交流しながらさつまいもの苗を植える体験を行いました。毎年恒例となったこの交流体験も、今年で8年目となりました。

育英小学校では、児童数の減少により、毎年行っていた田植えが今年も行われない中で、自ら作物を作って収穫するという、地域との交流体験は、このさつまいも植えと5、6年生のスイカ栽培だけとなりました。

はじめに、指導者の津守次一さん(前地)から植え方を実践しながら教えていただいた後、地域の方の指



津守さんから苗の植え方を学ぶ児童たち

示で間隔をとって、いもの苗を植えていきました。

今回は、全体で200本中50本の苗を2つのうねに植えました。土の掘り具合や苗の置き方などを、間に入って頂いた地域の方に教えていただきながら、あつという間に2うね植え、最後に交代で水やりをして、作業を終りました。



「大きくな〜れ!」と水やりをする児童たち

児童たちは「焼きいもが食べたい!」「スイートポテトがいい」など収穫後の楽しみを、思い思いに語っていました。収穫まで4ヶ月。10月まで枯らさないよう頑張って育てて下さいね。

水なしで初めての「陸稲」栽培!

須佐放課後子ども教室

5月29日(水)の放

課後、育英小学校が昨年まで田植えをしていた場所へ、教室の子ども達が陸稲



種は普通のモミと同じ

(おかぼ)のタネをまきました。稲作といえば水田で作られるイメージですが、陸稲は畑で作られます。手間暇はかかりますが、それゆえに達成感も人一倍得られます。

育英小学校が今年から田植えをしないということを聞き「何かそれに

育て!金時も!

弥富放課後子ども教室



地域の方と一緒に植える子ども

一方、弥富地区では毎年、農事組合法人弥富5区の皆さんにご協力いただき、さつまいもの苗植えを体験しています。

今年は、6月12日(水)に行いました。品種は「金時」と「シルクスイート」で、子ども達が手際よく植えていると、「上手やね。畑仕事を手伝ってもうらおうかねえ」と声を掛けて頂き、嬉しかったらしく、更に張り切って植えていました。

弥富5区の皆さん、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。



立派に育つといいなあ...

スポーツで交流深める！



6月2日(日) 須佐地区、弥富地区でそれぞれスポーツ大会が開催され、子どもから大人まで多くの方々が参加し、各地区ごとでコロナ明けの交流を深めるいい機会にもなり、両地区大変盛り上がりしました。

子ども達も頑張った ソフトバレーボール大会！



須佐地区

須佐中学校体育館で開催された、須佐地区対抗ソフトバレーボール大会では、須佐スポーツ振興会のチームを含む8チームが参加し、その中でも中高生で半分の4チームが参加するなど、面白い大会となりました。試合は、1コートで4チームずつのリーグ戦を2コートで行い、各コートの優れた2チームが3位、決勝戦を競い合い、最も成績の良いチームが優勝となります。

開会式では、最初のくじ引きで1番をひいたチームが、選手宣誓を行いました。

試合が始まると、小学生たちがものすごい声援で応援する姿が…。その目線の先には、育英小学校の先生チームが児童の目の前で熱戦を繰り

広げていました。中でも安江校長先生の、回転レシーブなどハッスルした姿は、会場を大変盛り上げました。決勝戦では、長いラリーやフェイントもあるなど、とても見ごたえある試合となりました。

次回もこのように、参加者が大勢



久々の子ども同士の対決！

集まり、楽しいスポーツ大会になればいいなと思います。皆さん、大変お疲れさまでした。

【大会結果】

優勝 R I P
準優勝 スポーツ振興会
3位 J P

久しぶりの大会に 歓声が上がる！



弥富地区

去る6月2日(日) 弥富グラウンドで、田植えの泥落としと親睦を兼ねた「体力づくり弥富地区対抗グラウンドゴルフ大会」が、天候にも恵まれ開催できました。

本年度は、11地区から17チームの参加があり、参加者、応援、役員等を含め約120名が集う元気な大会となりました。

試合は、各チーム2ゲームを行い、4人の総合打数により判定しました。(打数の少ない方が上位となります。)

今回優勝した6区は、1チームだけの参加で、しかも、メンバーの中には子どももいて、「よく頑張った」と皆さん驚かれました。

今年の大会は、朝少し肌寒く感じられましたが、皆さんプレーに集中され、一生懸命にゴールを目指してスティックを振られていました。参加者同士が互いのプレーを褒め合ったりしながら、とても楽しそうにグラウンドゴルフをされていた姿が印象的でした。

プレーをされていない皆さんは、ベンチに座り応援者同士で、和気あいあいと楽しく会話されたり、すば



小学生も頑張りました！

らしいショットに拍手を送られたりしている姿も多く見られました。

また今年は、各地区のお世話いただいた役員さんのお陰で、小学生5名も参加して、大会を盛り上げてくれ、楽しいひと時を過ごすことができました。

参加して頂いた皆さま、本当にありがとうございました。結果は、次のとおりです。

【大会結果】

☆団体 優勝 6区
準優勝 12区
3位 7区



☆個人 優勝 立野美徳(6区)
準優勝 末永朗(11区)
3位 藤井熊雄(12区)

※ホールインワンは4名

第33回須佐地域生涯学習発表

日頃の学習成果を発表!



イラスト
「まな坊」

6月15日(土)から17日(月)の午前中までの3日間、須佐公民館1階と須佐文化センターのロビーを会場に、生涯学習発表会の作品展が開催されました。残念ながら、今年もステージでの文化発表は中止となりましたが、日頃から活動している生涯学習団体の作品や、個人の趣味として創作されておられる作品など、多くの作品が出品され、来場者の目を楽しませていました。

今年度は、ジャンルは少ないですが、それぞれの出品数が多く、昨年の約200点を上回る542点の作品が展示されました。



「すごいね!」を連発する来場者

中には、工夫された作品もあり、ちぎり絵の作品では、材料を和紙の代わりに、新聞のカラー部分を切り出し、手でちぎって作品とされています。また、100円均一の小物を使って、12ヶ月分のリースを作っている方もおられ、「わーっ、かわいらしい!」と女性には人気でした。



100均の材料だけなんてすごい!

他のイベントがなかったにもかかわらず、3日間で150名以上の方が来場されました。

来年度の出品準備は、もうすでに始まっています。少しずつ、ゆっくり時間をかけて素敵な作品を作ってください。よろしくお願いします。

作品コーナー



「花瓶」

伊藤正久(中畑)



「寒椿」

田村倫子(本町下)



「タペストリー」

平野ヨシ子(青葉台)



「絵手紙教室」の作品から



「生き活き教室
エコクラフトクラブ」



「あゆみ教室」の作品の中から

公民館学級

楽しく親睦を深めよう

弥富さつき学級

5月27日(月)、今年度最初のさつき学級を開催し、第1回目は、老人クラブ須佐支部の皆さんと一緒にグラウンドゴルフを行いました。

当初の計画では、弥富グラウンドで行う予定でしたが、朝から曇り空で小雨も降り始めたので、室内グラウンドゴルフを行い、交流を深めながら体を動かして楽しみました。

はじめに開講式を行い、その後、須佐支部副会長の立野美徳さん(6区)にご挨拶をいただき、「自分の目標は、1ホールを最低2打までで終えるように頑張ります」と意気込みをお話されました。



室内コースでのショットはむずかしい...

ゲームは、AとEグループにチーム分けをし、多目的ホールに1と3番ホール、ロビーに4番ホール、廊下に5番ホール、ふれあい研修室に6と8番ホールにコースを設置し、全8ホールを2回まわりました。

皆さん、狙いを定めて真剣な表情でボールを打たれていました。なかなか狙い通りにいかず、「もうちょっとで入ったのに...」と残念がられる方や入ったと思ったら、ホールポストに跳ね返って出てしまうなど、色々なハプニングがありながらも、今回は、ホールインワンを出された方が11名もおられ、どのグループも大変盛り上がりしていました。

表彰式の後には、記念撮影も行われ、皆さん素敵な笑顔で表彰者同士、楽しそうにお話されていました。



優勝した日田知信さん

「グラウンドゴルフの結果」

優勝 日田知信(12区)
準優勝 坂本和見(2区)
3位 立野美徳(6区)

もつと地元を知ろう!

須佐あおば勉強室

6月11日(火)、今年度の教室のテーマの一つ「もつと地域を知ろう!」という事で、1回目の「須佐地域内を知ろう」は、須佐歴史民俗資料館「みこと館」から始まり、益田家墓所、笠松神社、松崎八幡宮、大瀬寺を回りました。

今、地元の中学生が須佐の魅力再発見プロジェクトとしているんなPRをしています。子ども達だけでなく、やはり地域の方も地元のことを知っていただき、未来の須佐地域を担う子ども達に伝えたり、また、観光に来られた方にも簡単に説明できたりするくらいに覚えていただけたらいいと思います。

いつもなら、全行程を歩いて回るのがですが、真夏のような暑さのため、参加者の体調を考慮し、今回は車2台に分乗して回りました。

参加者の中には、初めてこのまち歩きに参加される方もおり、説明を受けた後もいろんな事を質問しながら回りました。

次回、2回目の「もつと地域を知ろう!」は、9月に須佐地域外を、3回目を10月に弥富地区を回りますので、どうぞお楽しみに!



郷校育英館跡で説明を聞く



須佐町時代の育英小学校の写真



笠松神社の楯取素彦表忠碑前で

地区のパワーを結集した
「鈴野川ほたるまつり」

実行委員会の皆さんが、一ヶ月前から打ち合わせや準備を始め、開催日を迎えましたが、当日はあいにくの雨模様のため、ステージ等の一部催し物は施設内で行うこととなりました。



二井野バンドのライブを楽しんでみる参加者

場者で賑わいました。

ステージでは、おなじみのポップスライヴ「二井野バンド」による、懐かしい歌謡曲などのライブ演奏で盛り上がりを見せました。そのほかにも、長州神楽田原保存会による神楽舞「恵美須」の披露があり、神楽舞の中で撒くお菓子に観客も大喜び。

たくさんの子どもたちが、恵美須に群がりとても楽しそうでした。

また、出

店では鮎の
塩焼きや焼
き鳥、藤山
さん・間庭
さんの焼き
まんじゅう、



雨の中、屋外販売



雨の中、屋外販売をする地元有志の皆さん

手打ちそば、コロッケ、フランクフルト、アイスクリーム、ジュースに生ビールなどとても充実しており、小雨が降る中、屋外であるにもかかわらず行列ができていました。

肝心のほたるの数が少なかったのは少し残念でしたが、地区を挙げてのイベントを盛会のうちに終えることができました。

来年もまた、鈴野川ほたる祭りで会いましょう。



今年も活イ力求めて！



新鮮な「男命いか」は大人気です…



小学生が公民館へ訪問 「人権擁護委員の日」

6月3日（月）、突然、育英小学校の児童が石田憲雄さん（本町上）と一緒に須佐公民館へ来られました。

「6月1日は人権擁護委員の日」ということで、石田さんはまちの人権擁護委員さんとして、小学生と宣伝に回っているようでした。

人権擁護委員は、毎日の生活の中での困りごとや心配ごとなど、いつでも気軽に相談できる委員さんで、住民の人権が侵害されないように人権を擁護していく手助けをしてくださっています。皆さんも人権について関心を持ち生活していきましよう。



人権のチラシとグッズを配って歩く児童たち

6月2日から8月25日まで、毎週日曜日、須佐漁港にて「須佐男命いか直売市」が開催されています。

須佐の特産品である男命いかを売ってきたまま水槽から直接、100g320円で購入することができますということで、初日から、県内・外からの多くの来場者で賑わっていました。

また今年は、萩の農水産物やそれらを使った飲食のお店やキッチンカーが、マルシェ風な「須佐男命いか横丁」として直売市周辺に軒を連ね、直売市を盛り上げています。

皆様、ぜひお越しください。

子育ては、多様性

萩市保健推進協議会

須佐支部長 波田弘子



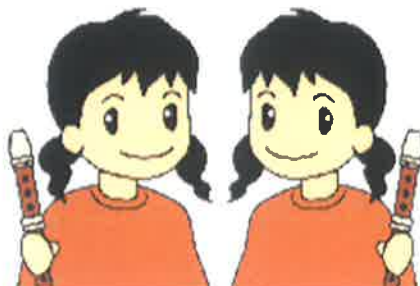
波田さんちの双子ちゃん（竜馬くん
の姉ちゃん）は今年で27歳になりま
した。

結婚8年目、体力！気力！お金を
かけて不妊治療の末にやっと授かっ
た娘たち。可愛くて、愛おしく、毎
日が楽しく幸せでした。出来るだけ
布オムツを使い、離

乳食も育児書を見な
がらレシピ通りに一
生懸命作りました
（今のズボラな私か
らは想像も出来ませ
ん…）。

双子ちゃんはいつ
もお揃い！一人が着
替えれば汚れてもい
ないのにもう一人も着せかえる。洗
濯物は増えるばかりの自虐行為で
した（笑）。

あの頃は、厳しいチャイルドシー
トの規制もなく、かごに入れてドラ
イブ。ベビーカーは横型で散歩もよ
くしました。二人並べてポーズを変



え、何枚も写真を撮りまくっていま
した。欠かさず見ていたテレビ番組
はおかあさんといっしょ愛読書は
アンパンマン、当時の私のプロフィー
ルです。

娘たちが2歳半の時に竜馬が生ま
れました。自然妊娠で授かった奇跡
の子でした。手のかからない
よく寝て笑う可愛い赤ちゃん
でした。

それから2年9か月後：竜
馬は自閉症と診断されました。
娘たちは障がい児のきょうだ
いとなりました。生活は一変
し竜馬中心に回っていきます。
奇想天外な行動を起こす弟、
そのつど謝る親の姿を見て、

いろいろな感情を抱きながら育つて
きた為か、娘たちは真面目で羽目を
外さず、どこか大人びたような、融
通が利かない子で、学校では品行方
正、優秀な波田さんちの双子ちゃん
でした。

成人式を迎えた年、育英小卒業記

念に埋めたタイムカプセルの掘り起
こしがありました。水害の影響は全
くなく、きれいな状態で残っていて
大歓声。「20歳になった自分への手
紙」ワクワクしながら読んでみると
「私らあ、小学6年の時にもう出来
上がとった。くそ真面目で一つも
面白いことが書いてなかった…」と
二人が呟きました。

中学生の時、進路希望は二人とも
「東京の、大学に行くこと」でした。
都会へのあこがれ大きいところへ出
たかったそうです。公約通り二人と
も大学卒業後も東京在住です。

将来帰ってくる気など二人とも全く
ありません。たまに帰るのがちょう
どいいそうです。

娘たち、成長するにつれて見た目
や個性の違いがはっきりしてきました。
た。当然なことなのですが何かにつ
けてどうしても比べられる運命です。
ぶつかる事は日常茶飯事、喧嘩は絶
えませんでした（激しかったです）

が、切磋琢磨しながら成長していっ
たのも確かです。娘たち言わく最大
のライバルであり、自分と近い、替
えがきかない不思議な存在だそうで
す。離れてみてお互いに存在の大き
さに気づかされたそうです。「母さ
ん、双子生まれて良かったよ」と二
人が言ってくれた時には、肩の荷が
下りたような気がしました。

竜馬が自閉症と診断された当時、
医師から「お母さん、竜馬くんは宇
宙人と思って育てて下さい！」と言
われました。「はあ？」障がい児と
言われた上に、宇宙人かよ…ひどい
こと言うなあど落胆しましたが、後々
この一言が、あきらめる勇気をくれ
ました。先生からの優しいエールで
した。まさに竜馬＝宇宙人…まあ、
いろいろやってくれました。油断大
敵まだまだ元気ですよ（笑）

振り返れば、我が家は宇宙人と双
子の地球人が共存する多様性に富ん
だ子育てでした。

迷惑をかけて謝ることはしょっちゅ
うでしたが、ほめてもらうこともいっ
ぱいありました。いろんなところで
助けてもらい、いろんな人に支えて
いただきました。

お世話になったたくさんの方々
の顔が目に浮かびます。皆さん、あ
りがとうございました。



元気な3人姉弟です



旧須佐町中央公民館

須佐図書館テレビ放映続く

平成10年2月27日にオープンして以来、須佐図書館の報道取材は、大事件が起きたくらい取材合戦となり、山口県内のローカル番組はもちろんのこと、全国ネットでの放映が相続き、中にはクイズ番組にも登場する始末。あるクイズ番組では、冒頭須佐本町筋の街並みが映し出され「夜に

し出され、利用者が「それは図書館でした」と回答するという番組でした。このようなバラエティー番組が、次から次へと放映されるまでの事態となりました。



解答は入館者全員で・・・

クイズ番組のタイトル



しかか?」という問題。それをゲスト回答者が当てるというもので、解答者からは「銭湯」や「買物」などの珍回答が続き、結局誰も当てることが出来ず、最後に須佐図書館が映

NHKドキュメンタリー番組

「未来派宣言」制作・放映

図書館オープンから1年が過ぎた8月、NHKから連絡が入り、ドキュメンタリー番組を取材したいとのこと、取材は約2週間、今までこれほど長期の取材は初めてのことで

2週間名古屋放送局の記者Tさんが、須佐に泊まり込みで昼夜の須佐の様子を取材、たおやかに流れる須佐の時を住民の目線でカメラが

追いました。

半農半漁の中山間地域、コンビニもない人口当時4千人の町に、なぜ24時間開館が必要だったのか、その理由をTさんは捉えていきました。もちろん夜の取材は、図書館に張り付き、住民のインタビューを行う一方、丁度取材時期が須佐の秋祭りとなり、松崎八幡宮社殿での神楽舞(須佐之男命)が、須佐を紹介する神話のイメージを伝えることに功を奏することになりました。

番組は、取材VTRを元にNHK名古屋放送局で制作され、司会は『ミッドナイトジャーナル』キャスターの経験があるフリージャーナリストの山根一真さんが、新しい社会活動などに積極的に取り組み挑む先進的な活動を「未来派」となぞらえ、山根さんによるスタジオトークで構成したものです。

平成11年11月25日、NHKドキュメント番組「未来派宣言／『故郷の誇り』」が午後11時45分～12時で放映されました。

番組の説明には、「山口県須佐町は、古い伝承と歴史を持つ小さな漁業町。ここに全国初の24時間図書館が生まれました。田舎ならではの良さを生かして、子ども達が地域に

ついて学び、いつか帰って来たいと思うようなふるさとの情報発信拠点を作ろう。

Uターンした町役場職員の熱意から生まれた町営図書館は郷土学習に取り組み子ども達や主婦、深夜漁を終えて訪れる漁師など、多様な人々が世代を超えて集う地域サロンになっています。」と説明されています。

こうしてこの番組は、NHK総合やBSを通じ全国に、再放送・再々放送など10数回放送され、多いに脚光を浴びました。

その後NHKからこの番組を永久に保存(デジタルアーカイブ)したいとのこと、了承しました。この番組はQRコードを読み取ることでスマホでも視聴することが出来ます。

しかし、今財政難を理由に須佐の象徴でもある24時間図書館が廃止されるという危機的な状況下にあります。何とか形を変えてでも、学びの場は残してほしいものです。 つづく



QRコード



未来派宣言「故郷の誇り」番組タイトル



タムラに負けずわが町を紹介

「ブラタモリ」ならぬ『ぶらぶらタムラ』が、わが町を紹介します。前回に引き続き、須佐と田万川の境界に位置する「犬鳴山」をご紹介します。

山の呼称の由来(前回に引き続き)

「更に文献を探り「犬鳴山」の呼称と、その由来を調べてみますと、「犬鳴山」と呼ばれはじめたのは、一説には「ある人が、犬と共に急な山地の滝のぼりをはじめようとしたが、犬が登れないので、その人は犬を背におんぶして滝を登った。その時に、背負った犬が鳴いたことにより「犬鳴山」と呼ぶようになった。」もう一説には、「奈良朝時代に国境を守る者を村主、または、イナギ(関所の主の呼び名)と呼んでいた。このイナギの名が、イヌナギに変化したものとの言い伝い。」もあると記録されています。

この記録からすると、この地に伝わる呼称は、前者の説が本当ではないか、と思料致します。こうした伝説を知ることが出来ましたのも、地域に記録や言い伝えが代々続いて残されていたからであり、保存の大切さを改めて思わされた次第です。



須佐大橋から見た犬鳴山

人と山の関連

私達は、永い時の流れの中で生活様式、交通手段の変化等によって、山の役割も徐々に移り変わり、山に入らなくなつて、次第に人と山との関連が薄れ、山は荒廃している現状です。

現に、かつてこの犬鳴山の麓には、

住民の生活道でもあった唐津集落から山谷集落に通ずる道や、唐津集落から唐津の滝沿いに歩く、小川平山集落に至る古道がありました。この山道も近年では廃道化していること等、その現実をみると、時代の流れに逆らうことはできません。

この山歩きをすることで、その地域の歴史を掘り起こし昔の人々の苦勞やロマンに想いを巡らすことが出来ます。そして、私達が忘れかけている大切なことを思い出させてくれることもありますし、新しい遺蹟や民俗文化の発見にもなると思います。

また、山歩きは五感(見る、聞く、かぐ、味わう、触れる)をフルに活用し、自らの知的要求を満足させることの出来る、少しの冒険的な山登りにもなります。

ある登山家の一言に「冒険的登山は、費用がいらぬ。大自然の中で、健康管理、ストレス解消の機会ともなる。」と言っています。

山歩きを健康づくり

事情が許せば、このふるさとの野山を大切にしたいから、心ゆくまで歩いてみたいものだ、と思った次

第です。

あの須佐高山の山頂からの犬鳴山方面の眺望は素晴らしいだろうと感じたことから、その犬鳴山への登頂を現実に見てみると、山への登山は安易に考えるのではなく、綿密なプランのもとにすべきと反省させられたところです。

身勝手な行動で民有林に立入り許可なく入山したこと

を本紙をお借りして、お詫び申し上げます。



犬鳴山(古櫃山)山頂二等三角点

ともあれ、道中、熊の出没もなく、高齢者の一人登山とあって、事故対策や連絡体制はもとよりのこと、現地の実状を充分把握し、コース選択や事前準備を致すに当たり、市役所や弥富支所の皆様方はじめ、友人各位の絶大なるご支援ご助言を賜わり、身支度も出来て安全第一の策をとり実践したお陰で、登山時間2時間5分、下山時間1時間15分の山登りを無難に終え、重い登山靴を脱ぎ安堵致したところです。

おわり



「まいどー」

地域おこし協力隊の山本一貴です。隔月でのこのコーナー。僕が須佐に来て「おもしろいな」と思った事を取り上げます。

今回は僕が住んでいる家についてです。家は本町上にあり、大家さんから萩市が借り上げてくれたところに住まわせて頂いています。間取りは驚きの9DK！庭をあわせた敷地はびつくり200坪！地方移住を考え始めていた頃から広めの家に住みたいな〜と思っていた僕にとつてはとても良い条件の所に住まわせて頂いており、大家さんと役所の方には大変感謝しています。

そんな家の庭を少しずつ自分の過ごしやすいように開拓し続けていま



庭の草刈りって大変ですね

「おおきにー！」
ぼちぼちと進めていきますので、家周辺で僕を見かけられた方、ぜひ声を掛けてください！

す。これが「田舎に住んだら自然とふれあいたい！」と思っていた僕にとつてはなんともおもしろいです。自然が家の敷地から出ずともあるんです！自然が迫って来てるんです！僕が住み始めるまでは7年間空き家だった事もあり、竹、栗、ツツジ等の木々がなかなか生え放題です。大家さんは好きにしていよいよと言ってくれているのでバシバシ伐採していきたいと思っています。ただ、なかなか竹が大変で、ざっと千本生えています。竹の生命力恐るべしって感じで今もニョキニョキと竹の子が生えてきています。竹には負けたくありません。負けると畳を竹が突き破り、大家さんに顔向け出来ないようになるかも知れませんので、

我が家のアイドル

外でお散歩や、登ったり降りたりする遊びが大好きで、とにかく元気いっぱいの日咲。

弟のことが大好きで、ミルクをあげたり、遊んでくれたりしてくれてありがとう。

今年は、10月から保育園にも入園。

新しいドキドキ、ワクワクがまってるよ！

いろんなことにチャレンジしながら、できることを増やしていこうね。

いっしょにがんばろう!!

いっぱい遊んで、いっぱい食べて、心も体もどんどん大きくなあれ!!

～パパ有孝・ママ佳恵より～

(中畑：中村さん)

少子化で、子どもの数が減少している中でも、須佐地域では次代を担う子ども達が、すくすくと元気に育っています。

ここでは、以前公民館だよりで掲載していた子どものコーナーを令和6年度から復活しました。



日咲（ひなた）ちゃん：2才

令和3年5月31日生



まちの駐在さん



Q：衛藤さん、警察官へなろうと思ったきっかけは何ですか？
また、動機は何ですか？ 教えてください。

須佐駐在所：衛藤豊文

私が警察官になろうと思ったきっかけは、高校3年生の時、地元の駐在所員から受験を勧めて頂いたことでした。特になりたい職業がなかったのが動機とも言えるかもしれません。

私の地元は小さな漁村でした。事件事故はほとんどなく、警察官と接する機会はありませんでしたし、当然、お世話になったこともありませんでした。

その当時、「太陽にほえろ」という刑事ドラマは見ていましたが、地元で見かけるのは、私服の刑事さんではなく、制服の駐在所員だけで、いわゆる職業としての警察官へのあこがれはありませんでした。

しかし、実際に警察官になってみると、若い頃、先輩について制服姿で活動するのは緊張の連続で、日々の活動の中で事件事故などの当事者と接することが、警察官として私の日常になったのです。

そこで感じたのは、警察官は人に感謝される仕事だということでした。事件事故や相談に対応した相手の方から、「ありがとう」と声を掛けられることもあり、私はこの言葉を聞いたたびに、警察官になって良かったと本当に思うのです。

県民の皆さんの安全で安心な暮らしを守るのが私たちの仕事です。もちろん大変な部分がありますが、その何倍もやりがいを感じさせてくれる仕事であることは間違いありません。

7月5日から、警察官採用試験（第2回）の申込受付が始まります。この寄稿を読まれた学生の方、保護者の方々、また、転職を考えておられる若い方、これもきっかけです。採用に関する受験案内は、萩警察署のほか、当駐在所でも用意をしていますので、お気軽にお立ち寄りください。



人口と戸数 (7月1日現在)	
全人口	5,364人
須佐町	3,852人
須佐地区	1,512人
須佐地区	1,322戸
須佐地区	460戸

あの頃の須佐は 40年前の須佐を 振り返る…「広報すさ」

このコーナーは、元気だった頃の須佐町を「広報すさ」から引用し、住民の皆さんに当時の元気な姿を届けたいと思います。

弥富老人憩の家が完成！



年をとると誰しも孤独感になりやすいものです。そこで、お年寄りの方々のために色々な福祉対策が講じられる中、昭和47年度に本町で萩地区広域市町村組合で老人憩いの家が須佐地区に建設されました。この施設は、お年寄りの方々が、誰にも遠慮なく楽しい憩いの場所として利用していただくために造られたものです。

弥富地区にも何とかして憩いの家を造りたいと考えていたところ、

写真はオープン時の様子（S60.7.1日発行紙から）

中国電力の弥富散宿所が不用となってきたため、町で買い受け、大々的に改修し、昭和60年6月30日に弥富老人憩の家として開所式が行われました。

長い間ご不便をおかけした方々に、これからは、どうぞ活用してください。

（一部抜粋）

クラブ活動紹介

元気な高齢者を支援する「生き生き教室」では、いろんな活動を展開しています。このコーナーは、それぞれのクラブ活動に関わっている方の思いを活動内容とともに紹介しています。



【手芸クラブ】

★活動日 毎月第2・4金曜日

9時30分～12時

場所 1階会議室

毎月2回公民館1階子ども教室のお部屋で活動しています。古着やハギレなどを使ってポーチやなど布小物を作ってみたり、家で眠っていた毛糸を使ってソックスカバーやマフラーを作ったりしています。

決まった物を作るというわけではなく、皆さんひとりひとり違う物を作りながらおしゃべりも楽しんで過ごしています。

生き生き教室が設立された当初から参加されている人や、友人からの口コミや公民館だよりを読まれて参加された方等、きっかけは様々ですが、皆さん和気あいあいとした雰囲気の中で活動しています。

☆参加者の声☆

・生き生き教室が設立された当初「出掛けることが大事。誰かと話して笑うことが大事」と言われ、素から手芸が好きと言うこともあり参加しています。

指先を使うことで脳の活性化にもなっていると思うから楽しい。

・手芸に興味がある人もない人も教室を覗いてみてください。楽しく活動している私達と一緒にしゃべりませんか？



皆さん、一緒に活動しましょう！

おうち時間を楽しく過ごすそう！

余暇を利用して、家族みんなで次のクイズに挑戦しましょう。今回も「漢字穴埋めクイズ」です。

【Q、次の①～④の■に入る漢字を、それぞれ応えましょう。その後、その■に入った漢字を並べて出来る「四字熟語」は何でしょうか。】

※答えは最終ページにあります。

①

力		請
望	■	
	悲	

②

音		日
籍	■	
	標	

③

社		動
言	■	
	自	

④

作		握
学	■	
	効	

四字熟語は？ = ○○○○



生涯学習作品コーナー

【俳句】

柿花落ち実る柿果誰が食べる
(吊るし柿が好きだった友人を亡くした想い)
(5区) 萬太郎

【短歌】

藻場づくり種藻を海に投下する

学徒に寄する明日への思い (青葉台) 田村雅利

朝ドラの戦中戦後に思い馳せ

心情しのびて今日も涙す (山根丁東) ゆめはるか



海青く白い大橋角島へ

はまゆう咲いて今も昔も

かしわ餅友とかたらうお楽しみ

今年の葉っぱ顔ほど大きい

青い海白い街道人の技

など見ても変わらぬ感動

角島へ妻は日ごろの角しまい

畑の草気になるけれどここは旅先

須佐老人クラブ 美男美女会



大塚 均 (1911-1998)

競馬法公布二十五周年記念
第十五回日本ダービー切手

1923年3月24日に競馬法（現行の法律と区分し、旧競馬法と言われる）が成立、同年4月10日に公布、7月1日に施行されると、この法律に基づいた競馬の施行、馬券の発売が行われるようになった。昭和23年同法律25年を記念した5円切手が発行された。大塚均37歳時の作品です。



須佐の偉人伝 大塚均

87

このコーナーでは、切手デザインの大塚均（山根丁東出身）さんがデザインされた約120点の作品を随時紹介しています。

切手カバー図案も合わせてお楽しみ下さい。

2024		7月 地域カレンダー		須=須佐公民館 弥=弥富公民館 ☺=生き生き教室 学=学校・保育園行事 スポ=スポーツ関係 保セ=保健センター 子=子ども対象行事 弥G=弥富グラウンド		
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	1 ☺麻雀クラブ 13:00 ☺ピンポンクラブ 13:30 ■社会を明るくする運動 パレード	2 	3 ☺つどい会 10:00	4 	5	6 ■須佐湾フィッシング パーク(～9月) 土・日・祝・盆
7 ■海開き(エコキャン) 	8 弥さつき学級 9:30 ☺エコクラブ 9:30 ☺ピンポンクラブ 13:30	9 須パッチサークル 9:30	10 ☺歩こう会 8:45 須色えんぴつ画 13:30	11	12 ☺手芸クラブ 9:30 ☺囲碁・将棋 13:30	13
14	15 ☺海の日 	16	17 	18 ☺生き生き体操 8:45 ■無料法律相談 (田万川)	19 小・中学校終業式	20 須放課後子ども教室 「日帰りキャンプ」 (まてかた) 弥子ども会 9:30
21 須佐ポッチャ大会 (須公) 家庭の日	22 ☺エコクラブ 9:30 ☺ピンポンクラブ 13:30 ☺麻雀クラブ 13:00	23 須パッチサークル 9:30	24 弥グラウンドゴルフを 楽しむ会 9:30 須色えんぴつ画 9:30 ☺音楽療法 13:30	25	26 ☺手芸クラブ 9:30 ☺囲碁・将棋 13:30	27
28 ■須佐湾大花火大会	29 ☺ピンポンクラブ 13:30 ☺麻雀クラブ 13:00	30 須さつき学級 13:30	31 	★7月は「社会を明るくする運動」月間です 犯罪や非行の防止や非行をした人たちの更生について理 解を求め、それぞれの立場で力を合わせて、犯罪や非行の ない明るい地域社会を築くための全国的な運動		

●のびのび教室
「竹細工とそうめん流し」
○とき 8月7日(水)
午前9時30分
午後2時

○ところ 久原園地
○参加費 300円
○持ち物 水筒、タオル、帽子
○申込み 7月31日(水)まで
に須佐公民館へ

※当日は、生き生き教室、萩高校奈古分校の生徒さんとの交流があります。

出かけることが大切！皆さん、ぜひ参加を！

毎月第3日曜日は「家庭の日」
 今月は「21日」です
 ★家族みんなで過ごしましょう！

須佐地域の人口 (R6.5月末現在)

	世帯数	人口	前月比
須佐	941戸	1,684人	(△8人)
弥富	217戸	397人	(△1人)
合計	1,158戸	2,081人	(△9人)

昨年比 世帯数△21人 人数△67人

伝言板

●弥富さつき学級

「うそ電話詐欺防止」

○とき 7月8日(月)

午前9時30分から

○ところ 弥富交流促進センター

○講師 弥富駐在所 所長 繁田京祐

○申込み 7月1日(月)まで

に弥富公民館 ☎8-2044へ

●須佐さつき学級

「笑顔あふれる終活を」

○とき 7月30日(火)

午後1時30分から

○ところ 須佐公民館

○講師 萩公証人役場 永瀬 忠

○申込み 7月24日(水)まで

に須佐公民館 ☎6-2310へ



編集後記

生涯学習発表会では、地域の皆様のご協力のおかげで、今年も無事終わることができました。毎年人口が減ってきている中で、生涯学習活動を何とか続いていくこと。そして、その成果が、地域の皆さんと発表できることが、一番の生き甲斐になっていることと思います。

まだまだ、個人で趣味をもっておられる方もおられると思います。来年度は、ぜひ、そういう皆さんにも、この6月の発表会に参加して、喜びを一緒に味わって下さい。

E・O

★クイズの答え＝他力本願 (たりきほんがん)